

エコアクション 21
環境活動レポート
(2013年4月～2014年3月)



～自然随順～

2014年6月30日発行

西部電機株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲(認証・登録範囲)	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標	4
5. 環境目標の実績と環境活動計画の取組結果とその評価、 今後の取組	5
(1) 二酸化炭素排出量の削減	5
(2) 廃棄物排出量の削減	6
① 一般廃棄物排出量の削減	6
② 産業廃棄物排出量の削減	7
(3) 水使用量の削減	8
(4) 物質使用量(購入量)の削減	8
(5) グリーン購入の推進	9
① 事務用品の非グリーン購入品目数の削減	9
② 製造部品のグリーン調達の推進	9
(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進	10
(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反訴訟等の有無	11
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	11
8. 地域への貢献	11

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

西部電機株式会社 取締役社長 宮地 敬四郎

(2) 本社及び支店営業所所在地

本社	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号	
支店	東京支店	〒136-0071 東京都江東区亀戸二丁目26番11号
	大阪支店	〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目4番5号
営業所	名古屋営業所	〒468-0015 名古屋市天白区原二丁目3101番地
	広島営業所	〒730-0013 広島市中区八丁堀1番17号
	九州営業所	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
出張所	札幌出張所	〒060-0033 札幌市中央区北三条東八丁目352番地
サービス センタ	東京サービスセンタ	〒272-0014 千葉県市川市田尻一丁目13番2号
	名古屋サービス	〒468-0015 名古屋市天白区原二丁目3101番地
	大阪サービスセンタ	〒567-0803 大阪府茨木市中総持寺町1番17号
	九州サービス	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
工場	本社工場	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

URL : <http://www.seibudenki.co.jp/>

(3) 環境管理責任者

専務取締役 藤岡 敬正

(4) 担当者連絡先

生産技術部 生産技術課 課長 小粥 市郎
 事務局 権藤 利佳
 TEL 092-941-1525 FAX 092-941-1520
 E-mail : ogai-ic@seibudenki.co.jp

(5) 主要な事業内容

事業部門	主要な商品及び事業	
搬送機械	立体自動倉庫、ケース自動ピッキングシステム、ピースピッキングシステム、FAシステム、搬送・ハンドリングシステム	
産業機械	産機部門	バルブアクチュエータ、ゲート駆動装置
	精密機械部門	超精密・高精度ワイヤ放電加工機、高精度小形NC旋盤、高精度自由形状研削加工機

(6) 事業規模

(2013年度実績:2013年4月～2014年3月)

区分	搬送機械	産業機械		生産技術部	管理部門	合計
		産機部門	精密機械部門			
売上高(百万円)	6,947	9,726		-	-	16,673
従業員数(人) 〈支店・営業所〉	102 〈55〉	93 〈35〉	56 〈11〉	52	36 〈9〉	339 〈110〉
敷地面積 69,207 m ²			総従業員数 449 人			

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

(1) 対象組織

西部電機株式会社

本社及び工場、九州営業所、九州サービス (従業員数 365 人)

〒 811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

(2) 対象活動

搬送機械、産業機械、工作機械の製造販売

(3) 対象外事業所

東京支店

大阪支店

名古屋営業所・サービス

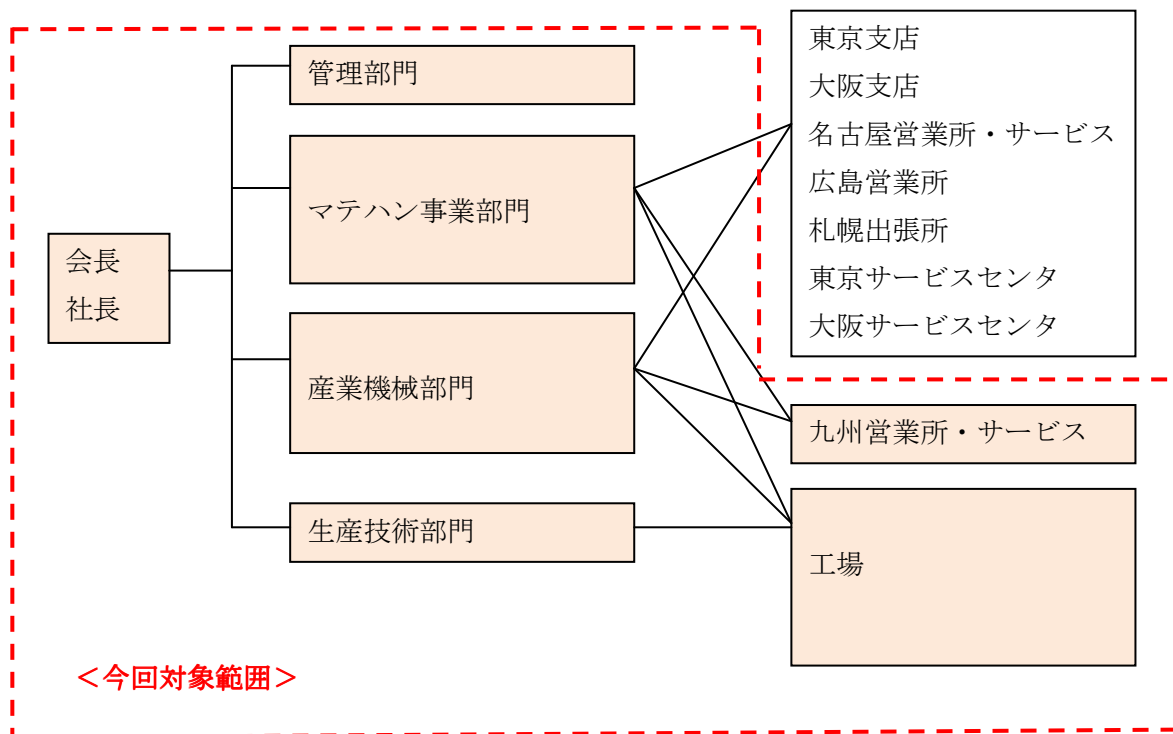
広島営業所

札幌出張所

東京サービスセンタ

大阪サービスセンタ

・上記事業所は、今後 3 年を目途に段階的に拡大する予定です。



[全社組織図]

3. 環境方針

西部電機株式会社は、自然随順に即した技術の応用で、メカトロニクス製品を提供し、広く社会に貢献しています。今、地球環境の改善が世界共通の重要課題として認識される中、当社も企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に努めています。今後も「環境と共存する西部電機」を目標に、積極的かつ継続的に改善活動を図ります。

環境スローガン

「未来に残そう豊かな自然」

基本理念

西部電機株式会社は、自然随順に即した技術の応用と、環境に配慮した企業活動及び社員の行動によって、地球環境の保全と改善を継続的に推進します。

行動指針

1. 企業活動にともなう環境への影響を把握し、環境保護の継続的改善と環境汚染の予防に取り組みます。
2. 環境に関する法規制、条例及び地域との協定などを遵守すると共に、「具体化対策」の策定及び実施により、環境保全の一層の向上に取り組みます。
3. エネルギー消費の削減、特に電力使用量の削減を図り、地球温暖化防止に努めます。
4. 廃棄物の削減と分別回収を図り、再資源化、再使用を推進し、資源の有効活用に努めます。
5. 省エネ、小形軽量化、部品点数の削減等環境に配慮した商品開発を推進します。
6. 化学物質の管理を徹底し、排出や流出などによる環境汚染の防止に努めます。
7. 購買に関しては、環境負荷の少ない資材、設備などグリーン調達を推進します。
8. 環境保護に関する社員教育を実施し、環境保全の意識向上に努めます。
9. 地球社会の一員として、環境保全の責任を果たし、安全で快適な地域社会づくりに貢献します。
10. 資源である水の有効利用を推進するため、節水に努め、水使用量の削減に努めます。

制定日 2012年9月25日

西部電機株式会社
取締役社長
宮地 敬四郎

4. 環境目標

- 当社では、2012年10月よりエコアクション21の取組を開始し、2013年9月認証を取得、その活動を維持継続するため、2013年度環境目標及び中期目標を次のように策定しました。
- 排出量は、売上高による変動が大きいことから、基準年の排出量を売上高で除した値を基に毎年1%の追加削減目標を設定しました。

(事業年度:4月～翌年3月)

項目	単位	基準年	単年度目標		中長期目標	
		2011年度 (実績値)	2013年度 (目標値)	2013年度 (改定目標値)	2014年度 (3年後目標)	2016年度 (5年後目標)
(1) 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	205	201 (△2%)	271	268	264
①電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	194	190 (△2%)	247 初期目標30%増	245 2013年度より△1%	242 2013年度より△2%
②ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	7.74	7.59 (△2%)	7.59	7.51 (△3%)	7.35 (△5%)
③その他の化石燃料の削減	kg-CO ₂ /百万円	3.79	3.71 (△2%)	16.9 2013年度より都市ガスを追加	15.3 2013年度より△1%	15.4 2013年度より△2%
(2) 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物の削減	kg/百万円	2.77	2.71 (△2%)	2.71	2.68 (△3%)	2.63 (△5%)
②産業廃棄物の削減	kg/百万円	7.22	7.07 (△2%)	7.07	7.00 (△3%)	6.86 (△5%)
(3) 水使用量の削減	m ³ /百万円	0.43	0.42 (△2%)	0.42	0.42 (△3%)	0.41 (△5%)
(4) 物質使用量(購入量)の削減	kg/百万円	10.7	10.5 (△2%)	10.5	10.5 (△3%)	10.20 (△5%)
(5) グリーン購入の推進						
①事務用品の非グリーン購入品目数の削減	品目	不明	440	440	-	-
②製造部品のグリーン調達の推進	品目	不明	現状把握	現状把握	-	-
(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進						
①環境改善活動(QC、VE、IE)の完結報告	件数	480	425	425	-	-
②環境に配慮した製品の開発	件数	不明	-	11	-	-
(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底	-	届出済	6月届出予定	PRTR制度対象物質の適正使用、適正管理に努め、届出を遵守する		

備考) ・二酸化炭素排出量における電力の排出係数は、九州電力㈱の2011年度実排出係数(0.525kg-CO₂/kWh)を用いた。

- ・()は基準年に対する削減率を示す。
- ・基準年の2011年度売上高は13,539百万円として、原単位目標値を設定した。
- ・2013年度より都市ガスを追加した。(2012年1月より工場新設により使用開始した)
- ・工場新設により、電力使用量が35%~40%の増加が試算されているため、2013年度電力使用量の目標値は2013年度当初目標の30%増とした。

5. 環境目標の実績と環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

- 今回は2013年度(2013年4月～2014年3月)における環境への取組状況を整理、評価しました。
- 原単位表記した環境目標については、期間内の売上高で実績値を計算しています。
- 設定した環境目標7項目の達成状況とそれに対応した取組活動の実施状況は、以下のとおりです。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年 2011年度 実績値	試行運用 期間 2012年10月 ～2013年3月	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標 達成率	達成状況 判定	
				目標値	実績値			
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	205	203	271	186	146%	○	
1 電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	194	192	247	172	144%	○	
2 ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	7.74	5.23	7.59	5.92	128%	○	
3 化石燃料 の削減	灯油	kg-CO ₂ /百万円	1.43	0.00	1.41	0.00	-	○
	都市ガス	kg-CO ₂ /百万円	-	4.70	13.1	6.41	204%	○
	液化石油ガス(LPG)	kg-CO ₂ /百万円	1.10	0.83	1.09	0.88	124%	○
	軽油	kg-CO ₂ /百万円	1.29	0.72	1.28	0.55	233%	○
計	kg-CO ₂ /百万円	3.82	6.25	16.89	7.84	215%	○	

備考) ・2013年度の生産高(売上高)は、16,673百万円として計算しました。
 ・その他化石燃料の実績値合計は都市ガスを除く。
 ・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。
 ・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない -:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 電力使用量の削減	日常的節電(人がいないときは照明、PCオフ等)各職場担当者を決め管理し状況を毎月EA21委員会にて報告する。	○
	定期的にエアコンのフィルターの清掃を行い、冷暖房効率を上げる。	○
	気温、状況に対応し冷暖房のデマンドシステムの管理を行う。	○
	新工場の温度設定を夏期24℃、冬期20℃にする。(6月より実施)	○
2 ガソリン使用量の削減	新工場の電灯をすべてLEDにし、さらに間引きを行い、節電する。	○
	走行距離、使用量のチェックリストによるデータを収集(毎月)・分析し、EA21委員会にて報告する。	○
3 その他の 化石燃料 の削減	計画に則り、車両更新時には、ハイブリット車への変更を推進し、状況をEA21委員会へ報告する。	○
	走行距離、使用量のチェックリストによるデータを収集(毎月)・分析し、EA21委員会にて報告する。	○
	データを収集分析し、EA21委員会へ報告する。	○
ガス使用量の削減	新工場の温度、湿度の制御方法を見直し、削減を図る。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 環境目標、活動計画ともに目標を達成しており、各職場で管理徹底されています。
- デマンドによる空調温度設定の見直しと、湿度コントロール変更の効果が電力、ガスの使用量に現れ、目標を達成することができました。今後も、変化に対応しながら、活動を続けていきます。

(2) 廃棄物排出量の削減

① 一般廃棄物排出量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	試行運用期間	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標達成率	達成状況判定	
		2011年度 実績値	2012年10月 ～2013年3月	目標値	実績値			
1 一般廃棄物 排出量の削減	生ごみ・その他	kg/百万円	1.06	1.24	1.04	1.52	68%	×
	飲料缶、ビン	kg/百万円	0.0591	0.011	0.059	0.006	975%	○
	その他不燃ごみ	kg/百万円	0.0074	0.004	0.007	0.011	66%	×
	OA用紙(リサイクル)	kg/百万円	0.070	0.098	0.069	0.167	42%	×
	ダンボール(リサイクル)	kg/百万円	1.38	1.33	1.35	1.44	94%	×
	新聞・雑誌(リサイクル)	kg/百万円	0.185	0.04	0.18	0.03	609%	○
計	kg/百万円	2.77	2.73	2.71	3.17	85%	×	

備考) ・2013年度の生産高(売上高)は、16,673百万円として計算しました。
 ・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。
 ・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない ー:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 生ごみなど、可燃廃棄物排出量の削減	各職場担当者を決め排出量を管理し、月々の廃棄量をEA21委員会にて報告する。(各職場にて、その月に廃棄したゴミ袋の個数を把握し報告)	△

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

- 環境目標は達成できませんでした。活動計画に関しては、報告が行われていますが、現状の把握がやや不足していました。
- 今後は、目標を達成できなかった原因を具体定量に把握し、対応策を早急に実行していきます。



② 産業廃棄物排出量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年 2011年度 実績値	試行運用 期間 2012年10月 ～2013年3月	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標 達成率	達成状況 判定	
				目標値	実績値			
1 産業廃棄物 排出量の削減	廃プラスチック	kg/百万円	1.63	1.60	1.59	1.82	87%	×
	廃油	kg/百万円	2.59	2.01	2.54	2.85	89%	×
	木パレット	kg/百万円	3.00	2.83	2.94	2.57	114%	○
	産業廃棄物計	kg/百万円	7.22	6.45	7.07	7.24	98%	×

備考) ・2013年度の生産高(売上高)は、16,673百万円として計算しました。
 ・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。
 ・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない -:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 廃塗料(廃プラスチック)の削減	塗装仕様書に基づき適正な使用量を計画し、管理する。	○
2 廃油の削減	分別表示を行い、分別を徹底させる。	○
3 廃棄木パレット(リサイクル)の削減	リサイクル品として業者に収集を依頼している木パレットに関し、毎月廃棄量を集計し、EA21委員会に報告する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 環境目標を達成できませんでした。
- 活動計画の取組は行われていますが、今後は、達成できなかった要因を把握し、対応策を策定します。



* リサイクル可能な物と不可能な物を分別収集しています

(3) 水使用量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	試行運用期間	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標達成率	達成状況判定
		2011年度実績値	2012年10月～2013年3月	目標値	実績値		
1 水使用量の削減	m ³ /百万円	0.43	0.33	0.421	0.47	90%	×

備考) ・2013年度生産高(売上高)は、16,673百万円として計算しました。
 ・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。
 ・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない -:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 日常生活水の削減	節水シールを貼り、節水を意識づける。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 環境目標を達成できませんでした。次年度は各メータ毎に使用量の動きに注意を払いながら、削減に努めます。

(4) 物質使用量(購入量)の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	試行運用期間	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標達成率	達成状況判定	
		2011年度実績値	2012年10月～2013年3月	目標値	実績値			
1 物質使用量の削減	木パレット	kg/百万円	4.43	4.07	4.39	4.02	109%	○
	ダンボール	kg/百万円	5.39	3.48	5.28	3.45	153%	○
	紙	kg/百万円	0.89	0.53	0.88	0.56	157%	○
	計	kg/百万円	10.7	8.07	10.6	8.03	132%	○

備考) ・2013年度生産高(売上高)は、16,673百万円として計算しました。
 ・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。
 ・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない -:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 木パレット、ダンボール、紙使用の削減	毎月購入量を統計し、EA21委員会にて報告、廃棄量と合わせて、削減案立案に向け分析する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 環境目標を達成できました。今後は、達成できた理由を明確に示せるように、手段、方法を考えて取組みます。

(5) グリーン購入の推進

① 事務用品の非グリーン購入品目数の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年 2011年度 実績値	試行運用期間 2012年10月～ 2013年3月	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
				目標値	実績値		
1 事務用品非グリーン購入品目数	品目	不明	非グリーン品の購 入件数延248品目	非グリーン品 の購入件数 延432品目以 下	非グリーン品 の購入件数延 449品目	96%	×

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 事務用品のグリーン購入	データの収集、EA21委員会にて報告。	○
	上長承認時にチェック。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 環境目標を達成できませんでした。今後は「グリーン購入品目数の増加」を指標にすることを検討し、コストも考慮しながら活動を進めていきます。

② 製造部品のグリーン調達への推進

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年 2011年度 実績値	試行運用 期間 2012年10月～ 2013年3月	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
				目標値	実績値		
1 製造部品のグリーン調達	件	不明	3価クロムナットへの 変更数 1件	現状把握	0	-	○

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 環境に優しいメッキの使用	6価クロム、メッキを、3価クロムメッキへ変更の維持(マテハン事業部で使用のボルトナット類をすべて3価クロムに変更、これを維持、管理する。又、その他の部品に関しても、積極的に3価クロム化を推進し、状況を、毎月EA21委員会にて報告する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 期間中、新規の報告はありませんでした。今後も、維持管理を継続してまいります。

(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進

(環境改善活動 (QC、VE、IE) の完結報告)

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	試行運用期間	2013年度 (2013年4月～2014年3月)		目標達成率	達成状況判定
		2011年度実績値	2012年10月～2013年3月	目標値	実績値		
1 環境改善活動 (QC、VE、IE) の完結報告件数	件	480件	248件	425件	470件	111%	○
2 環境配慮製品の開発	件	不明	不明	11件	11件	100%	○

・目標達成率は、目標値÷実績値×100 で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 QC、VE、IEに関し、環境活動に有効な改善の件数の把握と活動の推進	完結件数の把握とEA21委員会や各委員会での報告(3ヵ月に一度)及び活動の推進。	○
2 環境配慮製品の開発	EA21委員会で、開発状況について報告する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 環境目標を達成できました。 今後は、年間目標だけでなく、半年毎の目標をたて、各改善活動事務局と連携をとって進捗管理を行い、活動を進めていきます。

(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底

<環境目標の達成状況>

- PRTR制度対象物質の適正使用に関して、データ収集し、2014年6月に使用量届出を行う予定。

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 化学物質の適正使用、適正管理の徹底	PRTR法に基づく、指定化学物質の管理と、毎年6月に排出量の届出を行う。	準備中

<現状評価と今後の取組>

- 法令に基づき、管理し、毎年6月に使用量の届け出を行うとともに、今後は、四半期毎に集計し、管理を徹底していきます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反訴訟等の有無

- 当社に関する環境関連法規等の遵守事項は、以下のとおりであり、2013年度遵守状況を確認した結果、法令違反等はありませんでした。
- また、関連機関や利害関係者からの違反指摘や訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

主な環境関連法規	主な遵守事項
廃棄物処理法	マニフェストの発行、保管
フロン回収破壊法	許可業者への委託
化管法 (PRTR法)	特定化学物質の排出量を年に1度6月に届出する

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 2013年9月、エコアクション21の認証を取得、その後も、EA21委員会を中心に活動を継続しています。二酸化炭素排出量などは、環境目標を達成しましたが、廃棄物等、達成できていないものが見られます。
- 今年度目標達成できなかった項目、特に廃棄物に関し、早急に課題を洗い出して、スピーデイに改善策を練り実行に移して下さい。

8. 地域への貢献



年末の清掃活動

会社周辺の清掃など、積極的に地域貢献を行っています。